



勝又 ノブ さん

大正6年9月19日生まれ =新町中央=



家族に囲まれ、
勝又ノブさん
祝福を受け

勝又ノブさんの長寿祝い金贈呈式と誕生会は9月19日、介護老人保健施設あしろ苑で行われ、家族や同施設の利用者などが参加し、長寿を祝いました。

勝又さんは平舘地区出身で、岩手高等女学校卒業後に荒屋新町へ嫁ぎました。味噌と麴の「勝又屋」を営み、旧安代町長を務めた夫を支えながら、6人の子どもを育て上げました。

長寿の秘訣を三男の弘雄さんに伺うと「よく漬物に麴を入れて食べ、甘酒を嗜みました。趣味の手芸(手まり作り、編み物、刺し子など)を暇なしにしていました」と笑顔で話してくれました。



遠藤 友子 さん

「悩み事は自分だけで抱え込まず、話すことで気が楽になることもあります。ご近所さんだと思っ

人権擁護委員 遠藤友子さんが再任

人権に関する悩み事などの相談に応じる人権擁護委員に、遠藤友子さん(寺田)が、法務大臣から委嘱されました。再任3期目となる遠藤さんの任期は、10月1日から平成32年9月30日までの3年間です。相談日は、広報はちまんたい暮らしの情報カレンダーをご覧ください。

■問い合わせ先 市役所市民課戸籍住民係(☎・内線1074)

いわてフラワーコンテスト2017 最優秀賞リンドウ「安代の輝き」

いわてフラワーコンテスト2017(JA全農いわて主催)の審査は9月8日、県農業研究センター(北上市)で行われ、三浦正美さん(平長)の出品したリンドウ「安代の輝き」が最優秀賞に選ばれました。コンテストは、県内花き生産者の技術・生産意欲の向上を目的に開催され、今年で36回目を迎えます。リンドウやトルコギキョウ、小菊など172点が出品されました。上位9点はJR盛岡駅のわんこロードに展示され、駅に訪れた人を楽しませました。上位9点のうち市内受賞者は下記の表のとおりです。

表 いわてフラワーコンテスト2017 受賞者(上位9点のうち市内受賞者、敬称略)

区分	受賞者	作品(品種名)
最優秀賞(農林水産大臣賞)	三浦正美	リンドウ(安代の輝き)
優秀賞(岩手県知事賞)	八幡園芸	鉢リンドウ(クリスタルアシロ)
一等賞(岩手県信連会長賞)	(有)タチバナ	鉢リンドウ(クリスタルアシロ)

若手リンドウ生産者5人は8月26・27日の2日間、香港の生花店2店舗を訪れ「安代りんどう」のプロモーション活動を行いました。新岩手農業協同組合八幡平花き生産部の部会員である5人は、香港の生花店で生花バイヤーや一般消費者を対象に、産地の紹介や「安代りんどう」を使ったフラワーアレンジメントを実演。訪れた人にミニブーケをプレゼントし、好評を博しました。



「安代りんどう」を説明する若手リンドウ生産者と現地通訳者。左から現地通訳者、種市新一さん、齊藤正樹さん、齊藤英哲さん、三浦昭則さん、武田和典さん

八芳園の戦略から観光振興を考える 地域の観光資源を広く発信する講演会を開催

地域の観光資源を広く発信する講演会は9月12日、西根地区市民センターで開催されました。

講演会には、市民や市内外の観光関係者など約100人が参加。東京でブライダル業などを展開する八芳園の井上義総支配人が「地方の観光と共に成長する八芳園の戦略」と題して講演しました。井上氏は「空気の澄んだ満天の星空など、八幡平市でしかできない体験に今後の観光戦略の可能性があると助言。参加者は講演会を通じて、観光振興について理解を深めました。



日本庭園を生かした結婚式やイベントの開催、東京五輪に向けた取り組みを紹介する井上氏

監査事務功労者表彰 伊藤保己さん総務大臣表彰受賞

監査事務に功労があったことが認められ、伊藤保己さん(64)=下町三区=が総務大臣から監査事務功労者表彰を受賞しました。

伝達式は9月25日、市役所で開かれ、田村正彦市長から伊藤さんへ表彰状が手渡されました。伊藤さんは、町村合併直後の平成17年10月から就任し、以来現在に至るまで監査委員を務め、市勢の発展に貢献しました。



伊藤さんに田村市長から表彰状を伝達

本気になって取り組んだ全国大会 支えていただいた全ての人へ感謝



高橋勇一さん・佐代子さん
=わし森= 69歳・68歳

夫婦で稲作と和牛繁殖を営んでいます。「さつき」が生まれて2、3カ月した頃、良い牛になると確信しました。JA新いわて和牛アドバイザーの佐藤滋さんやJA新いわて八幡平和牛改良組合の鈴木圭一さんへ相談し、エサのやり方、ストレスを与えない管理方法などアドバイスを受け、本気になって愛情を込めて育てました。

全国大会の舞台に立つ「さつき」の姿には、感無量の思いが込み上げました。支えていただいた全ての人へ感謝したいです。

第11回全国和牛能力共進会(種牛の部)は9月7から11日までの5日間、夢メッセみやぎ(仙台市)で開催され、高橋勇一さんの繁殖雌牛名号「さつき」が優等賞8席を受賞しました。高橋さんの「さつき」は、7月26日、JA全農いわて中央家畜市場(雫石町)で開催された第61回県畜産共進会・第2区に出品し、最高賞である名誉賞を受賞。全国大会の出場権を得ました。



審査会場を進む「さつき」とハンドラーを務めた鈴木圭一さん=渋川開拓=

牛能力共進会では、種牛と肉牛(枝肉)の計9区分に全国39道府県から513頭が出品されました。高橋さんの「さつき」が出場した第2区(若雌の1)は、33頭が出品され、和牛の改良成果を競い合いました。